

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和6年12月定例会】

健康で安心感のある暮らし						
分類	発言順	会派名	質問者	大項目	中項目	小項目
保健・医療	①	明日への風	藤岡 一弘	1 市民の健康と命の確保について	(1)市民の健康に関する課題と対策について	ア) 三次市の健康に関する生活習慣の課題をどのように分析し、把握しているか伺う。 イ) 特定健康診断やがん検診、特定保健指導などの受診率向上への取組を伺う。 ウ) 特定健康診断などの受診率向上に向けて、オンライン申し込みの導入が検討できないか所見を伺う。 エ) 特定健康診断について、受診率向上のため、対象となる方へ勧奨通知など実施されているが、今後の勧奨通知についてより効果のある方法の実施に向けて、どのように考えられているか伺う。 オ) 市民の運動の習慣化に向けた取組と課題をどのように分析し、把握しているか伺う。 カ) 健康ポイント及び健康アプリの導入について所見を伺う。
					(2)A E D（自動体外式除細動器）の利用促進と周知拡大について	ア) 三次市のAED設置や使用について、課題をどのように分析し、把握しているか伺う。 イ) 24時間使用可能なAEDの設置増加への検討について所見を伺う。 ウ) 地元企業や店舗とのAEDの利用促進や周知拡大について、連携をすることができないか所見を伺う。 エ) 三次市における小学校及び中学校でのAEDの使用について、どのように教育されているのか。 オ) 小学校や中学校に設置されているAEDを24時間使用可能にする必要があると考えるか所見を伺う。
	④	明日への風	増田 誠宏	1 市立三次中央病院の経営状況と建て替えについて	(1)経営成績の現状と将来見通しについて	ア) 今年度上半期の経営成績は令和5年度と比較して、どのようになっているのか。また、その要因をどのように分析しているのか。 イ) 経営成績の将来見通しをどのように捉えているのか。 ウ) 経営成績の改善に向けて、現在取り組んでいる具体的な対策は何か。 エ) 看護師等の医療職の人員確保は出来ているのか。今後の見通しはどのようになっているのか。経営成績を改善していく中で、医療職や人員配置に影響等ないのか。
					(3)建替基本計画について	ア) 建て替えに向けての進捗状況を伺う。 イ) 令和5年度決算においても厳しい経営環境と認識するが、今後も厳しい経営環境が続いた場合、事業費の確保等、建て替えに影響がないのか。 ウ) 建替基本計画の変更を検討しているのか。状況次第では計画の見直しも必要ではないか。
	⑧	真正会	鈴木 深由希	1 感染症予防・対策について	(1)ウイルス対策について	ア) 公共施設の予防対策の実施の現状を伺う。 イ) 学校の予防対策の実施の現状を伺う。
				2 市立三次中央病院の運営について	(1)感染症対策について	ア) 感染症患者の救急搬送、外来、入院の受け入れ体制について伺う。 イ) 大災害、感染症等による混乱を想定した訓練の実施について伺う。
					(2)病院内の設備、備品の点検について	ア) トイレ内のベビー用備品は定期的に点検が行われているか伺う。 イ) 貸し出し車椅子の安全な利用の注意喚起の方法を提案するが見解を伺う。
					(3)外来サポートスタッフ（オレンジエプロン）の活動について	—

福祉	③	明日への風	掛田 勝彦	2 持続可能な介護保険制度にむけて 本市の課題と取組について	(1)第9期介護保険事業計画の課題やその 支援策について	ア) 2040年、第9期ひろしま高齢者プランによると、本市の場合65歳以上の高齢人口は減少するが、85歳以上の高齢人口は増加するとの将来予測になっている。このことを踏まえ、本市の介護保険制度に関わる課題を問う。 イ) 国立社会保障・人口問題研究所の85歳以上の人口推計によると、本市の場合2040年がピークになる。ところが、第9期ひろしま高齢者プランの介護人材の将来推計によると、1,210人が必要となる。介護保険制度や公助だけで支えることは難しいと考える。歳をとっても要介護になっても、可能な限り地域で暮らすことができる仕組みの構築が必要である。本市の果たすべき役割と、その中でも最優先で行うべきことを問う。 ウ) 今回の介護報酬の改定で、訪問介護の基本報酬の引き下げがあった。訪問介護員のなり手不足はより深刻になっている。高齢者の在宅生活を支えるためには訪問系のサービスは重要である。本市の、訪問介護のサービス提供体制についての現状や今後の見通しを問う。また、訪問介護事業所や訪問介護員に対してできる支援があれば、その考えを問う。 エ) 本市の第9期介護保険事業計画の34ページには、人材不足に苦慮している内容が書かれている。とりわけ介護職員の人材難は突出している。介護職員の確保を事業所に委ねることには限界を感じる。本市が行っている介護職員の人材確保の取組や、それに繋がるような取組があればその内容を問う。 オ) 今年度からモデル事業として三次市社会福祉協議会が介護サポーターの募集をしていると聞いた。募集に関しての状況や、雇用の実績や来年度にむけての考えを問う。 カ) 第9期ひろしま高齢者プランでは介護職のデータも示されている。3年以内の離職率が57.1%で全国平均を下回っているものの、介護のノウハウが蓄積できない状況である。本市の状況はどうか。定着を高めるための本市の考えや取組を問う。 キ) 今後、労働人口が減少していく中で、ICTを始めとするテクノロジーを活用することは必須になると思う。生産性の向上が急務だと考える。本市の場合、テクノロジーの導入が確実に進んでいるのか。各事業所への啓発や県の介護テクノロジー支援補助金の活用を推奨するとか、本市独自の補助金制度を作って支援するとか、本市としてのテクノロジーの活用、推進についての考えを問う。 ク) 介護職員の人材確保や定着を考えた場合、本丸はキャリアアップだと考える。現代の新卒者は企業に対する「自己実現・自己成長」を求めているデータもある。本市として雇用確保策だけでなく、各事業所の介護職員のキャリアアップを促す施策を行うとか、介護のプロ集団を作っていくための機会や場の提供をするべきだと思うが、本市の考えを問う。 ケ) 介護職員のキャリアアップの形成を考えた場合、垂直に登っていくような富士山型があると思う。一方で、本人の能力や意欲関心、ライフステージに応じてキャリアをたどる山脈型のようなモデルもある。キャリア形成を行うためには、音頭を取る存在が必要で、その主導的な役割を市が行うべきである。将来を見据えて取組んでいく考えはないのかを問う。 コ) 介護人材の確保等については、広島県の場合、広島県福祉・介護・人材確保等総合支援協議会で3つの取組が行われている。本市にも、同様のみよし福祉・介護人材確保等総合支援協議会がある。本市の協議会の活動状況について問う。また、県との繋がりはどうか、連携して事業を行うことがあるのかを問う。 サ) 厚生労働省では事業の大規模化や業務提携（協働化）を推進しているが、馴染まないところもある。介護事業所で小規模なところが多く、横の繋がりが弱く孤独感を感じるところもある。共通のニーズの掘り起こしをして、事業所間の課題解決にむけた少数の事業者同士をつなぐ、マッチングが必要だと考える。少数で話ができる場づくりを協議会で構築することができないか、この取組についての本市の見解を問う。
	⑨	日本共産党	伊藤 芳則	1 物価高騰対策について	(1)公共料金の値上げ対策について	ア) 国民健康保険は来年度基金がなくなるがどのように対応するのか。 イ) 介護保険料の負担軽減と訪問介護事業所への報酬引き下げの対応が必要ではないか。 ウ) 後期高齢者医療保険について、医療費の負担軽減が必要ではないか。
				2 国民健康保険証のマイナンバー カード移行について	(2)米価高騰対策について	ア) 主食である米価高騰対策の支援が必要ではないか。
	⑪	三輝会	横光 春市	3 高齢者福祉施設と介護職員につい て	(1)本市の高齢者福祉施設と介護職員の現 状等について	ア) 市内の高齢者福祉施設の介護職員の現状をどのように捉えているのか。 イ) 人材確保のために、特別養護老人ホーム跡地に公的な住宅を建築し、その住宅は、福祉団体へ指定管理してもらう提案について、執行部の所見を問う。 ウ) 施設設置者が職員住宅を建築や改装等整備する場合、助成金制度を創設すればと考える。執行部の所見を問う。

福祉	⑮	清友会	重信 好範	1 重度障害者等の支援について	(1)重度障害者等の短期入所の現状等について	ア) 2023年度の短期入所の対象人数ならび利用率について伺う。 イ) 短期入所利用率の課題を伺う。
					(2)重度障害者等への支援について	ア) 保護者が入院した場合、受け入れる施設数などは十分か伺う。 イ) 利用者と事業者（地元施設）の連携は取れているのか伺う。
					(3)短期入所の課題について	ア) 寄り添った短期入所になっているのか伺う。 イ) 施設数・職員数の確保について伺う。 ウ) レスパイト利用はできないか伺う。
					(4)親亡き後の支援について	ア) 親亡き後の市の認識の考えを伺う。 イ) 調査・ヒアリングしているのか伺う。 ウ) 今後の支援について考えを伺う。
					(5)おむつ券の見直しについて	ア) 補助制度が出来て日数もたち、物価高騰も続き、支援の見直しを考えていないか伺う。 イ) ゴム手袋などの新規補助の考えはないか伺う。
					(6)自動車燃料費助成券の見直しについて	ア) 18歳未満の利用者の助成券について伺う。 イ) 助成券利用者の年齢制限撤廃はできないか伺う。
	⑰	清友会	保実 治	2 熱中症対策について	(1)世代間への熱中症対策について	オ) 高齢者に対する熱中症の対策や課題をどうとらえているか伺う。
					(2)熱中症防止策の現状と課題について	ア) クーリングシエルトターの利用状況と今後の課題について伺う。
				3 マイナ保険証への移行と資格確認書について	(1)マイナ保険証移行における課題等について	ア) 本市におけるマイナ保険証の利用率も低迷していると思う。しかし、マイナ保険証に移行することは決定していることから市民へのメリットをどのように周知するのか伺う。 イ) スマートフォン教室でマイナ保険証の周知徹底図られないのか伺う。 ウ) 高齢者施設などの福祉施設でのマイナ保険証への一本化が施設に与える影響をどうとらえているのか伺う。
					(2)資格確認書の周知等の現状について	ア) 資格確認書の仕組みと交付方法（市民側の申請は必要か）医療機関の受診は問題なくできるなど周知できているのか伺う。 イ) 国民健康保険加入者への資格確認書は申請者のみでなく、マイナ保険証のない方へプッシュ型で届くのか伺う。
多文化・共生	⑯	清友会	穴戸 稔	1 日本被団協ノーベル平和賞受賞と森瀧市郎氏の顕彰について	(1)三次市としての日本被団協ノーベル平和賞受賞の活かし方について	ア) 平和教育等、受賞を機に新たな取組をする考えはないか。
					(2)日本被団協 初代代表 森瀧市郎氏の顕彰について	ア) 森瀧市郎氏は三次市の出身であることから顕彰とその発信で核兵器禁止条約締結、またはオブザーバー参加への促せの取組は考えられないか。

安全で快適な生活環境						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
自然環境	—	—	—	—	—	—
生活基盤	④	明日への風	増田 誠宏	2 下水道事業について	(1)公共下水道の接続推進の取組と下水道使用料金の将来見通しについて	ア) 公共下水道の接続推進に向けてどのような取組をしているのか。 イ) 接続推進を図るため、接続工事に対する補助制度の創設が必要ではないか。 ウ) 今後の下水道使用料金について、セグメント別に経営状況の判断した上で、公共下水道の料金改定は限定的にするべきではないか。
				4 収納業務について	(1)登録型クレジット収納業務の廃止と影響について	ア) 登録型クレジット収納業務の廃止理由とその影響はどのようにになっているのか。また、市民への周知は十分に行われているのか。 イ) 収納率低下を招かないのか。収納率の低下を防止し利便性を確保するため、口座振替手続きのデジタル化などの対策を進める必要があるのではないかと。
	⑨	日本共産党	伊藤 芳則	1 物価高騰対策について	(1)公共料金の値上げ対策について	エ) 下水道接続の負担軽減が必要ではないか。 オ) 水道料金の値上げにつながるのではないかと。
	⑫	三輝会	細美 克浩	5 公共事業の予算編成について	(1)公共土木事業の拡充について	ア) 公共施設の更新事業が多く、近年公共土木事業の予算が極端に減っており、建設業界への影響も懸念されるが、今後の予算編成をどのように考えているのか。
	⑰	清友会	保実 治	2 三次町「もののけ前」バス停について	(1)利用者要望に対するその対応について	ア) このバス停を利用している市民から施設改善の声が届いていると思うが、それに対する市の考え方と対策があればどのようなものか。
				3 これまでの一般質問項目の検証について	(1)過去の一般質問で指摘・提案してきた諸課題に対するその後の検討・取組について	ア) 農業集落排水施設の今後の見通しについてどのように検討されているのか。その検討に対する方針は出たのか。 エ) 市営墓地の無縁墓調査の現状と取組について何う。
防災減災・安全	⑦	公明党	中原 秀樹	3 危機管理計画について	(1)消防団活動に必要な装備品の管理について	ア) 消防団積載車及びポンプ車のタイヤは1年通して装着しているうえに長期使用のタイヤも多いがタイヤ交換基準又は判断基準について市の考えはあるのか。 イ) 冬季に向けての積雪対策のための各種装備品について何う。
	⑧	真正会	鈴木 深由希	3 防災・減災について	(1)行政の役割について	ア) 自主防災組織の構成員（諸団体）の役割について行政の指導的立場の考え方を何う。 イ) 地域避難場所の指定の有無について処遇の違いを何う。 ウ) 十日市南7丁目の道路整備について、地域住民の要望書提出後の進捗状況について何う。
	⑮	清友会	重信 好範	2 熱中症対策について	(1)世代間での熱中症対策について	カ) 災害が発生した場合の避難所での（特に基礎疾患を持つ方）熱中症対策の課題を何う。
	⑰	清友会	保実 治	1 A E D（自動体外式除細動器）解禁20年の現状について	(1)現状と諸課題に対する市の考え方と取組について	ア) 緊急時に備えた対応計画といったマニュアル等は策定しているのか。 イ) 報道のある低迷している使用率に対する市の見解について何う。それに対する本市の取組はあるのか。 ウ) 救命教育の現状について何う。 エ) 設置場所の市民への周知はどのように行っているのか。また、周知がいき届いていると判断しているのか。 オ) 「市民もまず行動を」の考えを促すことが重要と考えるが、それに対する見解と今の取組があれば聞かせて欲しい。
				3 これまでの一般質問項目の検証について	(1)過去の一般質問で指摘・提案してきた諸課題に対するその後の検討・取組について	イ) 災害時協力井戸設置の実績と現状の取組について何う。

子どもの未来応援						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
子育て	②	明日への風	徳岡 真紀	1 こどもまんなか政策の取組について	(1)本市におけるこどもまんなか政策の取組について	ア) 現状の取組について伺う。
					(2)子どもの未来応援宣言について	ア) 現状に合わせた見直しが必要ではないか。
					(3)こども計画の策定について	ア) こども計画の対象年齢について伺う。 イ) 対象年齢の子どもの意見聴取は行っているのか。 ウ) 計画の中での若者支援にはどんな内容を予定しているか。 エ) ユースセンターなど、若者の居場所づくりの取組を行う予定はあるのか。
				4 子どもの権利条例について	(1)本市での権利条例の制定に向けての取組について	ア) 子どもの権利を周知する取り組みはどうなっているのか。 イ) 子どもの権利条例を制定する考えはないのか。
	⑩	三輝会	國重 清隆	1 少子高齢化・人口減少問題と市の将来展望について	(1)人口減少対策について	ア) 子育て世帯への新たな支援策を創設する考えはないか。 イ) 子育てしやすい環境を整える施策を進めているのか。
	⑮	清友会	重信 好範	2 熱中症対策について	(1)世代間への熱中症対策について	ア) 保育所・こども園での園庭やプール活動での熱中症対策や課題を伺う。
教育	②	明日への風	徳岡 真紀	2 不登校児童生徒への支援策について	(1)年々増加する不登校児童生徒に対する支援メニューやその取組について	ア) 直近の不登校児童生徒、また、さみだれ登校などの本市の状況はどうか。 イ) そのうち自宅を主な居場所としている児童生徒数について伺う。 ウ) 現状をどのようにとらえ、本市の不登校支援の何が課題だと考えているのか。 エ) 当事者や保護者、教員への調査を行う必要があるのではないか。 オ) 保護者や児童生徒への不登校相談支援のさらなる見える化を求める。 カ) 親の会の取組の進捗はどうか。 キ) 学びの多様化学校の設置はどうなっているのか。中でも夜間中学を併設するなどの特色ある学校の設置の考えはないか。 ク) 高校生やその保護者からのこども家庭センターへの相談件数について伺う。 ケ) 高校生の不登校支援について伺う。 コ) 不登校が原因で通信制高校等へ通うための経済的な支援は考えられないか。
				3 子どもの人権を尊重した校則などの見直しの現状について	(1)校則の見直しの現状について	ア) 校則の見直しに取り組んだ学校は何校あるのか。また、その見直し内容と子どものかかわりは具体的にどのようなものなのか。 イ) 中でもジェンダーに配慮した校則の見直しはあるのか。 ウ) 校則に明記されていない校則の見直しについてはどうか。 エ) 子どもや保護者への調査の考えはないのか。
					(2)教員から子どもへのパワーハラスメントの現状について	ア) 本市での実態とその対策について伺う。
	⑤	会派 未来	竹田 恵	1 教育環境に関することについて	(1)十日市小中学校の建て替えに伴う進捗状況について	ア) 建て替えにむけての関係機関との検討状況を伺う。 イ) 建設予定地における自然災害対策への対応を伺う。 ウ) 予想される予算規模を伺う。 エ) 老朽化した体育館、武道場などの建て替えの検討状況を伺う。
					(2)学力到達度検査・全国学力調査の結果の推移について	ア) 両調査から明らかになっている本市の課題について伺う。 イ) 学力向上にむけた具体的な取組について伺う。
					(3)コミュニティスクールの具体的な取組について	ア) 地域における小中学校の存在意義について見解を伺う。 イ) 小規模学校の活性化にむけた具体的方針や取組を伺う。
					(4)放課後児童クラブの課題について	ア) 保護者が預けやすい開所時間になっているか。 イ) 職員の勤務時間・働き方についての課題を伺う。

教育	⑨	日本共産党	伊藤 芳則	1 物価高騰対策について	(2)米価高騰対策について	イ) 給食費の値上げにつながるのではない。 ウ) 給食の無償化こそ必要ではないか。
	⑭	清友会	山田真一郎	1 三次市の小中学校における運動会のあり方について	(1)運動会を実施する理由について	ア) 子どもにどのような効果があるのか。 イ) 保護者にどのような影響があるか。 ウ) 地域にとってはどのような意義があるのか。
					(2)運動会の現状について	ア) 本市の現状について何う。 イ) 伝統の継承について何う。
				2 三次市立十日市小・中学校等改築基本計画について	(1)各施設整備について	ア) なぜ小・中学校校舎を併設としたのか。 イ) 周辺施設の整備はどのようにするのか。 ウ) 武道館は新設しないのか。 エ) 体育館は改善されるのか。 オ) 駐車場の設置場所決めた理由について何う。 カ) 現在地での建て替えとなった経緯について何う。
	⑮	清友会	重信 好範	2 熱中症対策について	(1)世代間での熱中症対策について	イ) 小・中学校での熱中症対策のマニュアルやガイドラインはどうなっているのか何う。 ウ) 小・中学校でのプールでの授業時の対策と課題を何う。 エ) 熱中症警戒アラートが発令された時の体育授業の学校での対応について何う。

豊かな心といきがい

分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
芸術・文化	—	—	—	—	—	—
スポーツ	①	明日への風	藤岡 一弘	3 みよし運動公園の運動広場改修事業について	—	ア) みよし運動公園の運動広場改修事業により運動広場が人工芝化される。今後、人工芝化された運動広場及びみよし運動公園は様々な活用方法があることから、スポーツ・運動振興や地域振興に期待する声も多い。今後の人工芝が整備された運動広場の活用策やスポーツ・運動振興をどのように計画していくか何う。
	⑦	公明党	中原 秀樹	2 指定管理施設利用について	(2)多目的運動施設の利用について	ア) 多目的施設においては各指定管理者の定めた利用規約が設置されているが、市内全体での基本的な利用規約を定めるべきではないか。
	⑩	三輝会	國重 清隆	2 いきいきと活力あふれる「スポーツのまち みよし」の実現について	(1)誰もがスポーツを楽しめる環境づくりについて	ア) 障害スポーツ振興の進捗状況を何う。 イ) 高齢者スポーツに対する市の支援を何う。
					(2)子どもたちがスポーツを楽しむ機会の創出について	ア) 各小中高の活動に対する市の支援を何う。
					(3)スポーツによる地域活性化の推進について	ア) 全ての市民がスポーツに参加できる地域活性等の環境整備の進捗状況を何う。 イ) アスリートとの交流を通じ、子どもの意欲と体力向上、スポーツを通じた共生社会の実現について市の考えを何う。
	⑫	三輝会	細美 克浩	3 全日本女子野球連盟認定の女子野球タウンについて	(1)女子硬式野球クラブチームの取組について	ア) 官民連携でのチーム結成を掲げてるが、市はどこまで関与していくのか。 イ) 体制づくりのへの予算は考えているのか。 ウ) 市は選手の職員採用を考えているのか。
					(2)試合会場の整備について	ア) 三和野球場への放送施設設置、外野フェンス塗替え等の計画はあるのか。 イ) 今年は非常に暑い日が続き、観戦された方も熱中症で病院へ搬送されることもあったのではないかと聞かれるが、日よけ対策として、三次市宮球場、カーター記念球場、三和野球場の観戦シートへ屋根を設置する考えはないか。 ウ) 選手への思いやりとして、シャワー室を設置する考えはないか。

いきいきとした地域						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
定住・交流	③	明日への風	掛田 勝彦	1 本市のシティプロモーション事業について	(1)この3年間のシティプロモーション事業の効果検証について	ア) 本市はシティプロモーション戦略を謳っているが本市の戦略とは何か。また、最終的にはツナガリ人口の拡大を図ることを目的にしていると理解している。なぜ、ツナガリ人口に着眼されたのか。そして、ツナガリ人口の拡大の進捗と成果を具体的な数字について問う。 イ) 本市のブランドメッセージ「みよし 人よし 元気よし」の今現在、市民への浸透度はどうなのか。動画も複数あるが、概ね再生回数が70回～200回ぐらいである。なぜ、再生回数が少ないのか。このことについてどのように考えているのかを問う。 ウ) 本市のシティプロモーション戦略のKPI（アウトプット）とKGI（アウトカム）の設定が歪な構造になっている。これでは成果がでにくいと考えるが、本市の考えを問う。 エ) ブランドメッセージや動画の浸透、発信を考える上で、「サーロインの法則」に基づいて実践するのが適切だと思う。これがマーケティング戦略上、大事なことだと考える。本市のシティプロモーションはそもそも戦略だてが十分とは言えない。この3年間の予算の振り分けと、それぞれの作り物（コンテンツの開発）の運用・効果検証についての評価を問う。 オ) 今後の本市のシティプロモーションの展開を行う上で、「サーロインの法則」に基づき、運用・効果の検証に関しても予算を配分して、効果的な事業の実践と事業効果を測定される考えはないのか、本市の考えを問う。 カ) 現行のシティプロモーション戦略の22ページから23ページに、具体的な方針（つながるプロモーションの構築他）が書かれている。これらの取組はきちんと行われているかを問う。 キ) シティプロモーションは戦略目標ありきである。大事にしていく内容として、ターゲット論がある。本市のターゲットは広くあまねくといった印象を持っている。次の戦略のターゲット設定をどのように考えているのかを問う。
	⑥	会派 未来	新田 真一	1 三次市立地適正化計画について	(1)適正化計画の目的・意義について	ア) 人口減少・少子高齢化の課題にどのような効果があるのか。 イ) 財政面での持続可能な都市経営を可能にするとは何か。 ウ) 緩やかに誘導とはどう進めることなのか。 エ) この計画により、生まれる課題を明確にする必要があるのではないか。
					(2)三次市総合計画と立地適正化計画の連携・整合性について	ア) 立地適正化計画の誘導策と総合計画の取組について問う。 ・定住・移住対策について ・公共交通機関について ・教育について
					(3)共創のまちづくりを進めるための市の考え方について	ア) 総合計画に将来のまちの姿の実現に向け、取り組もうと結んである。このまちの姿について問う。
	⑫	三輝会	細美 克浩	1 活気ある三次を取り戻すための対策について	(1)市制施行20周年記念にぎわい創出イベント等補助金制度の取組について	ア) 早い段階で予算を超えたと思われるが、申請件数は何件だったのか。 イ) 申請を打ち切る前に相談等あったと思われるが何件あったのか。 ウ) 打ち切られた事業については、補正予算での考えはないか。
	⑯	清友会	宍戸 稔	3 住宅政策について	(1)市営住宅のこれからについて	ア) 老朽化した建物のリフォームを行うことで入居の促進を図ることはできないか。 イ) 家賃等の入居条件の見直しで特に周辺部の人口減少対策、定住対策を図ることは考えられないか。
					(2)周辺部の住宅政策について	ア) 周辺部の人口減少対策、賑わいの創出のため、住宅団地等若者が住みやすい条件整備政策を図ることは考えられないか。

住民自治	①	明日への風	藤岡 一弘	2 最低賃金上昇による影響について	—	ア) 最低賃金上昇における住民自治組織や指定管理施設などの関係機関への影響はあったのか伺う。 イ) 住民自治組織や指定管理施設などにおいて、近年の物価上昇や最低賃金上昇の影響を考慮した予算措置が必要ではないかと考えるが所見を伺う。
	⑪	三輝会	横光 春市	2 渋谷キューズについて	(1)渋谷キューズの活用状況について	ア) 今年度、どここの部局が何回、延べ何人の職員が赴いているのか。また、渋谷キューズ、現地での活用実績があれば伺う。 イ) 東京の活動が三次市へどのような影響を与えているのか。また、三次市で政策にどのように活かされようとしているのか伺う。 ウ) 渋谷キューズをどのように活用し、人材育成や政策に活かすとしているのか伺う。 エ) 渋谷キューズを活用して、三次市で伸ばしたい事業等への外部人材を求めたり、或いは、企業から協力を得て三次市として事業を展開するということとはできないかと考える。執行部の所見を伺う。
	⑬	三輝会	小田 伸次	1 ツナガリ人口拡大事業について	(1)ツナガリ人口拡大事業の取組について	ア) DMOの補助金項目説明にインバウンド、とりわけ台湾をターゲットと有るが現況について伺う。 イ) DMOの現在の人員体制と行政は何処まで関わっているのか。 ウ) 渋谷キューズの取組は良いと思う。地理的に近い関西圏エリア、特に来年度万博が開催される大阪に対する取組はどう考えているのか。 エ) 移住支援金やみよしファンクラブ事業でも首都圏、東京23区と限定されているがどうしてなのか（財源問題か）、また現況について伺う。 オ) ツナガリ人口拡大事業でふるさと納税は増加を見込めそうか。（施政方針で発言）
				3 住民自治組織との関わり方について	(1)市街地で深刻な問題となっている住民同士のツナガリについて	ア) 地域間格差がある常会や単位自治会に対してどう関わっているか。（アドバイス等） イ) 地域活性化調査研究事業と自主防災組織活動支援事業の現況について伺う。

活力ある産業						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
農林畜産	⑦	公明党	中原 秀樹	1 農業振興事業の取組状況について	(1)薬用作物の産地化への取組について	ア)栽培適正地域についての方向性は見えているのか。 イ)課題とされる除草作業は省力化により改善されているのか。 ウ)重点品目の収穫量は増えている状況ではあるが、令和10年度の目標値達成に向けての取組について伺う。 エ)今後、実用化されるうえで費用対効果についてどのように分析されているのか。
					(2)需要に応じた米づくりの推進について	ア)近年の高温障害では栽培技術や土壌改善などを取り入れて収穫量や品質確保に対してどのように分析されているのか。 イ)高温により乳白米などの被害が懸念されているが、どのような対策を取り組んでいるのか。 ウ)本来の米どころである、寒冷地域の水田活用見直しの考えはあるのか。
	⑨	無所属	伊藤 芳則	1 物価高騰対策について	(1)米価高騰対策について	ア)主食である米価高騰対策の支援が必要ではないか。
					(3)中小事業者・農家への支援について	イ)米価が来年度どうなるか分からない。下落対策が必要ではないか。
	⑩	三輝会	國重 清隆	3 農林畜産業の将来ビジョンと鳥獣被害防止対策について	(1)農林畜産業者の担い手の育成について	ア)新規就農者推進チームの活動内容を伺う。 イ)研修品目(アスパラガス・ほうれん草・ぶどう)に、それ以外の作物を追加する考えはあるのか。 ウ)森林環境譲与税を活用した森林の整備の実績を伺う。 エ)アグリパーク整備事業の進捗状況を伺う。
					(2)鳥獣被害防止対策について	ア)市の新しい補助金について伺う。 イ)シカ、イノシシの被害拡大(山林、田畑、三次中心部畑)に伴い、担い手とともに研修会を実施してはどうか、市の考えを伺う。
	⑪	三輝会	横光 春市	4 農業の今後について	(1)本市における農業の今後について	ア)三次市の農業経営されている農家が何件あって、所得税を払わなくて良い農家数と、農業以外の所得で納税している所得税が返ってくる農家、どのようになっているか伺う。 イ)農事組合法人でも、地域の圃場を頼まれて耕作しておられる個人の農家も高齢化は確実に進んでいる。この現状をどのように把握し、将来どのように推移すると予想し、その対応をどのようにしようと考えているのか伺う。 ウ)農林水産省の7月の農業物価指数、2020年の平均価格を100ポイントとした場合、肥料が139ポイント、農業は115ポイント、光熱動力は132ポイントと高騰する一方、米は95ポイントと5ポイント低迷していると記載してある。このように物価高騰を受け、執行部はどのように受け止めているか伺う。 エ)農業の現状を市長会で米の価格を生産資材の価格高騰分が米価に転嫁され、農家経営が圧迫されないよう、今後の米の安定供給を確保するためにも、農家が再生産できる水準への一定の価格引き上げが重要であることを協議し、国へ上申していただきたいと考える。市長の見解を求める。
	⑫	三輝会	細美 克浩	4 鳥獣被害対策について	(1)専門担当部署の設置について	ア)鳥獣被害が増えている現状から、専門の対策係を設置する考えはないか。 イ)共済との関連から農協との連携チームをつくる考えはないか。
					(2)動物との接触事故防止対策について	ア)動物との接触事故が絶えないが、山林部での市道法面部に生えている樹木を市内全域伐採する考えはないか。(森林環境譲与税の活用)
	⑬	清友会	保実 治	3 これまでの一般質問項目の検証について	(1)過去の一般質問で指摘・提案してきた諸課題に対するその後の検討・取組について	ウ)鳥獣害対策で県のテグスへの参加の検討はしたのか。検討の結果について伺う。

商工	④	明日への風	増田 誠宏	3 活力ある産業について	(1)商工分野への取組について	ア) 本市の商工業の現状について、どのように分析しているのか。 イ) 現状、商工分野に対してどのような支援策を実施しているのか。また、課題に対して今後どのような対策を検討しているのか。
					(2)三次の元気づくりに向けて、中小企業への支援の取組について	ア) 三次の元気づくりのため、中小企業への支援を市としても組織的に行うべきではないか。 イ) 意欲ある中小企業等へ、課題解決や目標達成に向けて専門家を派遣する仕組みづくりが必要ではないか。 ウ) 人手不足の現状もあり高校生等の若者に三次に残ってもらう、帰ってきてもらえる取組を強化していくことが必要ではないか。 エ) 魅力ある三次の企業を、市民に広く周知する取組を強化する必要があるのではないかな。
					(3)企業誘致について	ア) 企業誘致に向けた取組を強化して、より実効性のある形で推進していく必要があるのではないかな。
	⑦	公明党	中原 秀樹	2 指定管理施設利用について	(1)三次もののけミュージアムの運営状況について	ア) 三次地区の拠点施設としての地域住民とのコミュニケーションづくりについて伺う。 イ) 三次地区文化・観光まちづくり交流館施設の利用者促進に向けて、市としての取組と利用状況について伺う。 ウ) 三次もののけミュージアムの費用対効果についてどのように分析されているのか。 エ) レストランの再開の考えはあるのか。
	⑨	無所属	伊藤 芳則	1 物価高騰対策について	(3)中小事業者・農家への支援について	ア) 中小事業者への支援が必要ではないか。
	⑩	三輝会	國重 清隆	1 少子高齢化・人口減少問題と市の将来展望について	(3)企業誘致数と今後の予想について	ア) 企業誘致の追加の優遇策を考える時ではないか。 イ) 新たな工業団地の立地について伺う。 ウ) 私立大学誘致について市の考えを伺う。
観光	⑬	三輝会	小田 伸次	2 地元経済活性化に向けた取組について	(1)地元中小零細企業に対する取組状況について	ア) コロナ明け経済界は倒産の数が増加、特に小売業が多いと聞く。みよし産業応援事業や小規模事業者経営持続支援事業補助金等様々な補助金支援策を実施はしているが利用状況は如何か。また現状をどう捉えているのか伺う。
	⑫	三輝会	細美 克浩	2 新たな観光戦略について	(1)動物とのふれあい広場の増設について	ア) 市内外の方で賑わっているみよしあそびの王国周辺に動物とのふれあい広場を増設し、観光スポットにしてはと考えるが計画等の考えはないか。 イ) 官民連携での考えはないか。
	⑯	清友会	穴戸 稔	2 君田温泉の再開について	(1) 再開後の運営会社と市の関わりについて	ア) 温泉施設貸付契約の履行について、プロポーザルされた内容の監視や確認はどのように行われるのか、また行われているのか。

その他						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
その他	⑤	会派 未来	竹田 恵	2 職員の採用及び働き方について	—	ア) 中途退職など、現在の三次市役所、三次中央病院の職員数の課題及び2025年度採用に向けた状況について伺う。
	⑩	三輝会	國重 清隆	1 少子高齢化・人口減少問題と市の将来展望について	(1)人口減少対策について	ウ) 人口減少対策に向けた部局、プロジェクト課の設立を考えるべきではないか。 エ) 民間研究所（官民連携事業研究所）とパートナーシップ協定を結んだ後の進捗状況について伺う。
					(2)市の将来展望について	ア) 合併20年に際し施策の検証は行われたのか。 イ) 各支所の縮小を見直す考えはないのか。 ウ) 指定管理制度が数年続いているが見直す考えはないのか。
	⑪	三輝会	横光 春市	1 議案提出について	(1)各部署における報告・連絡・相談・確認について	ア) 国民健康保険会計の動向をみて、3月の補正予算編成時に決算を予想できなかったのか。 イ) 議案提出時に地域共創部にあつては、気が付かなかったかもしれないが、八次第6放課後児童クラブとした担当部、そして統括をする総務部にあつては、チェックできたと考える。組織全体の報告、連絡、相談体制、チェック機能はどのようにされているのか伺う。 ウ) 補正予算での事業説明で、行政組織条例で定める各部の事務分掌は守られているのか、各部局の協力体制はできているのかを疑問に感じる。どのようにして業務を振り分けているのか伺う。 エ) 一般会計予算書で職員数を見てみると、令和5年度が722人、令和6年度が710人と12人減少している。率直に言って、業務量に対して、職員数が少ないのではないかと。一連の事象を受けてどのように考えているのか、また職員数についても伺う。
				4 年収の壁103万円が地方行政に与える影響について	(1)年収の壁130万円が見直しになった場合の本市に与える影響について	ア) 年収の壁103万円が、178万円に引き上げられた場合の地方自治体に与える影響、三次市の住民税与える影響、どの程度減収となり地方交付税はどの程度減額されると、試算されているのか。また、他に歳入の影響があれば、合わせて伺う。 イ) 歳出についても、市条例で定める各種制度や三次市支援事業のなかには、所得税に関わるものがあり、支払いにおいても影響があり、支払いの対象者範囲が広がると考える。事業を全てということにはならないと思うが、その影響額はどの程度か伺う。 ウ) 年収の壁103万円が、178万円に引き上げられた場合、三次市財政計画、実施計画を変更しなくてはならないと考えるが、執行部の所見を伺う。
	⑰	清友会	保実 治	3 これまでの一般質問項目の検証について	(1)過去の一般質問で指摘・提案してきた諸課題に対するその後の検討・取組について	カ) 市の相談窓口のワンストップ化について伺う。